

8・6広島青空式典に集まれ!

日時: 2022年8月6日(土) 10時30分

場所: 広島原爆ドームの隣り

プログラム

1. 開会の言葉
2. 黙 祷
3. 基調報告 被爆二世の会
4. メッセージ
5. 各団体・個人からの発言
6. 閉会の言葉
7. シュプレヒコール

スローガンは以下の通りです。

1. 全ての被爆者・被爆二世・被爆三世の国家補償を勝ち取ろう!
2. 日本政府はアジアの戦争被害者に謝罪と補償を行え!
3. 日本の核武装を許さず、世界中から核を廃絶しよう!
4. 上関原発建設に反対しよう!
5. 日本政府は原発被ばく者に国家補償を行え!
6. 全ての原発の再稼働を許さず、廃炉にしよう! 原発の新設、増設、輸出を阻止しよう!
福島第一原発の汚染水を海に流すな!
7. 憲法改悪を阻止しよう!
8. 安保関連法を廃止しよう!
9. 岩国の愛宕山に米軍住宅はいらない! 敵基地攻撃能力はいらない! 辺野古の新基地建設やめろ!
米軍再編に反対し、全ての米軍基地をアジアから撤去しよう!
10. アジアの仲間と共に平和を実現しよう!



2022年 8・6広島青空式典 基調報告

被爆二世の会 代表 寺中正樹

はじめに

被爆 77 年の 8 月 6 日広島、8 月 9 日長崎を、コロナ禍とウクライナ侵略戦争が続く中で迎えようとしている。

私たちはロシア軍のウクライナからの即時撤退と停戦を強く求める。核兵器による恫喝もその使用も絶対に許さない。その上で、米、英、EU 諸国及び日本がウクライナに武器支援などを行うことに断固反対する。そのことが、ウクライナとロシアの対立を煽り、多くの民衆を虐殺する戦争行為を継続させることになるからだ。

日本の情勢

7 月 8 日、安倍元首相が参院選の遊説中に銃撃を受け死亡した。宗教団体への個人的な恨みからの犯行であったにもかかわらず、マスコミや SNS では「言論封殺」「民主主義への挑戦」などと騒ぎ立てられた。ウクライナ侵略戦争や安倍元首相銃撃事件の影響か選挙結果は自民党が単独で改選過半数の 63 議席を確保し、憲法改正に前向きな「改憲勢力」は国会発議に必要な 3 分の 2 以上の議席となった。

そもそも岸田政権は、ウクライナ侵略戦争に乗じて「改憲」策動や反撃（敵基地攻撃）能力の確保、そして軍事費の対GDP比2%への大幅な拡大強化を行おうとしている。また安倍元首相など与党内部からは「核共有」発言があった。絶対に許せない。

再び日本が侵略戦争を行うこと、銃口を人に向けることを絶対に許してはならない。戦争できる国づくりのための憲法改悪を断固阻止しよう。

安倍元首相の疑惑は未だ明らかになっていない。安倍元首相の国葬や県民葬に反対しよう。

2023年主要国首脳会議(G7サミット)の広島開催に反対

来年5月19日～21日、G7サミットが広島で開催される。核兵器の非人道性を告発し、侵略戦争を二度と許してはならないという被爆者の思いを利用し、核兵器保有国が集まり、核抑止力をはじめとする軍事支配を背景にして世界市場をどう分割していくかを話し合う「場」にしようとしているのだ。これを私たちは断じて許さない。とりわけ、広島・長崎に原爆を落としたアメリカが被爆者に謝罪もせず、原爆使用を戦争犯罪だと認めずに広島に侵入することなど言語道断だ。

2016年にオバマ大統領（当時）が広島に来た時も、たった十分間の原爆資料館の見学の後に謝罪もせず、所感で「71年前、晴天の朝、空から死が降ってきて世界が変わりました」と原爆投下を自然災害のように述べた。戦争で核兵器を使用したのは、アメリカだけだ。アメリカが原爆使用という戦争犯罪の責任を取らずに、未だに核兵器を持ち続けているから、核兵器を持つ国が増えているのだ。こうしたアメリカの居直りを私たちは断じて許さない。

また、原爆被害に遭ったのは、日本人だけではない。日本の朝鮮植民地支配によって、多くの朝鮮人が被爆した。私たちは、先のアジア・太平洋戦争が日帝の侵略戦争であったことを痛苦にとらえ返し、二度と日本が侵略戦争を起こさないようにする。

日本政府は核兵器禁止条約に批准・署名を求める

核兵器禁止条約第一回締約国会議が、今年6月21日～23日、オーストリアのウィーンで開催された。

第一回締約国会議にはオブザーバーとしてドイツやノルウェー・オランダ・ベルギー・オーストラリアなどが参加した。あらゆる場所で「戦争被爆国」と被害者を装う日本政府は署名も批准もしておらず、オブザーバー参加すらしない。

全国被爆二世協会長の崎山昇さんは、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）が核兵器禁止条約第一回締約国会議の前に開催した市民社会フォーラムで発言した。20日のオーストリア政府主催による「核兵器の人的影響に関する会議」では被爆者や被爆三世が登壇した。

日本の外務省の石井軍備管理軍縮課長は20日の「核兵器の人的影響に関する会議」には出席したが、翌日から開かれる核兵器禁止条約の締約国会議には出席していない。

今年8月には核兵器不拡散条約（NPT）会議がニューヨークで開かれる。岸田首相は日本の首相として初めてNPT再検討会議に出席すると発表した。

被爆地広島選出の岸田は「核兵器のない世界」の実現をライフワークとしているらしい。しかしアメリカが今も毎年のように核実験を続けていることに、抗議すらしない。

私たちはどんな国のどんな種類の核実験にも抗議する。

被爆二世集団訴訟に勝利し、法的援護に基づく被爆二世の援護を実現しよう！

2017年に全国被爆二世団体連絡協議会（以下、全国被爆二世協）が開始した被爆二世の援護を求める集団訴訟は、広島地裁、長崎地裁共に最終弁論を迎え、一審判決が年内にも下されようとしている。広島原告28名、長崎原告26名の原告団・訴訟団・弁護団は、国に被爆者援護法に基づく被爆二世の法的援護を求めて、

全力で闘っている。

この間、放射線の遺伝的影響をめぐる論戦が繰り広げられた。こうした論争と合わせて、被爆二世自身が原告として今まで体験した健康不安や病気、兄弟姉妹のこと、結婚差別や子どもの健康不安などを赤裸々に語ってきた。流産、死産した兄弟姉妹も多い。中には、ガンと闘っている原告もいる。被爆二世も高齢化が進んでいる。待ったなしだ。

原発の新設、再稼働ゆるすな！

岸田首相は今冬に原発を最大で 9 基稼働すると表明した。稼働させるのは西日本に限られ、東日本の原発は含まれない。

この 9 基には含まれていないが、島根県の丸山達也知事は中国電力島根原発二号機の再稼働に同意すると表明した。島根原発二号機は全国で唯一、県庁所在地にある原発で、大事故を起こした東京電力福島第一原発と同じ沸騰水型軽水炉（BWR）である。原発から 30 キロ圏内には 46 万人が住んでいる。事故が起きた場合 46 万人もの人々が避難できるのか？

中国電力（以下、中国電）は上関原発建設も諦めていない。7 月 4 日、中国電の瀧本夏彦社長は上関町を訪れ、上関原発について「絶対に必要になる電源」と話した。中国電は昨年にも上関原発を建てるための海上ボーリング調査を行おうとした。しかし祝島の漁業者や上関町民、原発はいらないと思う人々のおかげで、中国電は何も出来ないまま期限切れとなり、海は守られた。地元住民や環境団体による自然を生かしたイベントや観察会、海岸清掃なども行われており、上関に原発はいらないという思いが広がっている。

韓国の新大統領・尹錫悦（ユンソンニョル）は原発推進に力を入れ始めた。私たちは韓国の反原発団体と学習を続けている。

環境を破壊し、誰かを被ばくさせなくては動かせない原発は世界のどこにもいない。被ばく労働者と連帯し、世界中から原発をなくそう！ 被ばく労働者の命がけの闘い「あらかぶ裁判」を支援しよう！

私たちの思い

私たち「8・6広島青空式典から9・6『山口のヒロシマ・デー』へ！連続行動実行委員会」は、1985 年以降、毎年 8 月 6 日に広島市の平和公園内で、被爆二世・学生・労働者・障害者など市民の手による反戦・反核・反原発・被爆者解放の集会「青空式典」を開催している。2013 年より韓国の仲間も加わり、日韓共同行動も行っている。その他にも中国電力が上関原発建設を計画している田ノ浦やその対岸で上関原発建設反対を訴え続けている祝島へのフィールドワークも行ってきた。そこで学んだことは、核と人類は共存できないということだ。

広島・長崎の被爆者はこれまで「ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ」の声を世界中に広げ、三度核による被害者が生まれないよう闘ってきた。しかし被爆者の思いを踏みにじり、イラクでは「劣化」ウラン弾が使われ、また、核実験によるヒバクシャ、原発による被ばく労働者が作られてきた。ウクライナ侵略戦争では核による恫喝が行われている。

皆さん！一緒に被爆者や戦争体験者の思いを引き継いでいこう。主権在民・基本的人権の尊重・平和主義という日本国憲法の原則を堅持し、日本の過去の戦争責任・戦後責任を問い、市民の力で新たな戦争の動きを止めていこうではないか！ 沖縄の辺野古新基地建設に反対する「島ぐるみの闘い」は、戦争政策へと突き進む日本政府に対して「沖縄から日本を変える」と訴え、「本土」を告発している。私たちは、各々の場所、辺野古に埋め立て土砂を送らせない取り組みなど沖縄に連帯して闘う。沖縄ー「本土」ーアジアー世界の中で、反戦・反核・反原発・被爆者解放を訴える人々と手をつなぎ合って、目に見える取組を行い、共に安心して暮らせる平和な社会を作り出していこう！ 「青空式典」と「戦争と被ばくを許さない写真展ー命を脅かすものー」を成功させよう。

メッセージ

被爆77周年原爆ドーム前の「非核平和行動」に参加のみなさま。大変ご苦労様です。

山口被爆二世の会におかれましては、被爆二世への援護を求め山口県や山口市に対する行政交渉のみならず、平和を求める運動や反核・反原発運動など幅広い取り組みをされていることに心より敬意を表します。

77年目の暑い夏がやってきました。

あれから77年たった今も被爆者は苦しめられています。そして、放射線による健康不安や健康被害は、次の世代である私たち被爆二世・三世にまで及んでいます。このことこそが、原爆が非人道兵器と呼ばれる所以です。

さて、2017年、国連において多くの被爆者や核のない世界を願う人々の努力によって、「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。このことは被爆者の悲願であり、国際的にも大きな前進だと言えます。現在65カ国が批准しています。そして、今年6月初めての締約国会議がウィーンで開かれました。全国被爆二世団体連絡協議会も代表を派遣しました。日本政府はこの条約を批准しようとはしません。日本政府はアメリカの核の傘の下で、核抑止論を盾に外交を行おうとしているからです。

アメリカの言いなりとなる日本政府は、核保有国と非保有国の橋渡しをするなどと言い、核廃絶へ向けた自らの考えもなく、核抑止論に頼るのみです。

核廃絶に向けて、唯一の戦争被爆国としての責任と義務を果たすべきです。

世界の先頭に立って、核兵器廃絶に向けた行動を取るべきです。

被爆後77年が経過しました。生き残った被爆者やその子どもの被爆二世も未だに自らの健康不安や差別と闘っています。現在もその傷後は消えません。

ロシアのウクライナ侵攻でプーチン大統領は核使用まで言及しています。私たちを取り巻く情勢は切迫したものがありますが、今後とも山口被爆二世の会と共に、私たち全国被爆二世団体連絡協議会も「二度とヒバクシャをつくらない」ために闘うことをお誓いして連帯のメッセージとします。

山口被爆二世の会

会長 寺中 正樹様

2022年8月6日

全国被爆二世団体連絡協議会

事務局長 平野 克博

8・6広島青空式典へのメッセージ

素晴らしい時代に向きあって来た
被爆2世の皆さんの取り組み
を誇りに思います。共に未来の
一筋の光となるようがんばりま
しょう。がんばれ8・6広島青空
式典様!! 私也被爆2世と
して最高年齢の75才になりました
が、まだがんばります!

氏名・ペンネーム

平野伸子

8・6広島青空式典へのメッセージ

尊厳が忘れられてしまっ
ていませんか?

誰も戦争する為にこの世に
誕生していない。幸せに

であるが私たちは人間として
生を受けたのでは?

もう一度考え下さい。

氏名・ペンネーム 武次 幸子

8・6広島青空式典へのメッセージ

私達は、戦争を知ら
ない世代ではない。
イラク、シリア、ウクラ
イナでの戦争はTVで
流れている。でも戦
争の恐ろしさをヒトガ
トと思い、戦争する米
国に追随し、自衛隊
の軍備を拡大する。
平和は黙っていても得
られるものではない。
広島の下で、
私達は平和を求める
声をあげよう!

氏名・ペンネーム

ミムラ

8・6広島青空式典へのメッセージ

戦争はしない

戦争はさせない

過ちは許りません

氏名・ペンネーム イノウエ ミ

8・6広島青空式典へのメッセージ

ロシアによるウクライナ軍事侵攻・侵略を断じ
て許してはなりません。また米国・EU-NATO
軍事同盟による代理戦争化にも反対の声を。
「台湾有事」「尖閣諸島防衛」を声高に叫び、
「核共有」「敵基地攻撃能力」さらには憲法9条
改憲が当然の如くなっている現在の日本の状
況にも警鐘を鳴らしましょう。

77年前の沖縄戦の教訓は、「軍隊は住民を
守らない」でした。そこから、「命(ぬち)どう宝」
の合い言葉、行動指針が生まれました。「日本
復帰」50年を迎えた沖縄は、今なお米軍基地
の過重な負担を抱え、さらには琉球弧一帯への
自衛隊ミサイル基地化が急ピッチで進んでいま
す。

「命どう宝」。私たちは現代に生きる人間の誇
りと尊厳をかけ、反戦・反核・反原発・反基地・
反安保の闘いをともに前進させていきましょう。

氏名 沖縄・名護市議会議員/川野純治



8・6広島青空式典へのメッセージ

戦争やめろ！人を殺すな
核兵器を作るな、持つな、
使うな。
原爆も原発もいらない。
核と人類は共存できない
— 命 が 大 事 —

氏名

スギモックン



8・6広島青空式典へのメッセージ



氏名・ペンネーム カシオペア



主 催:

8・6広島青空式典から9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！連続行動実行委員会

呼びかけ団体:

被爆二世の会

全国一般労働組合全国協議会 山口連帯労働組合(連帯労組・やまぐち)

アジア共同行動(AWC)山口

やまぐち障害者解放センター

憲法を活かす市民の会・やまぐち

連絡先:被爆二世の会

〒753-0000 山口中央郵便局 私書箱79号

TEL 080-1913-1070

mail: hibaku2@c-able.ne.jp

<https://hibaku2.info/>